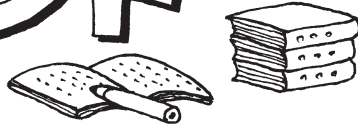


じゆくご 熟語ランド



第15回

田代しんたろう

類は友を呼ぶ

言葉の意味

似た者同士は自然に付きあつて仲間になるという意味。

《似る》という中には、性格や考え、育った環境、趣味や好みなどが含まれますね。

気の合う者同士は自然に集まり自然に友達になつていく、とも言えます。

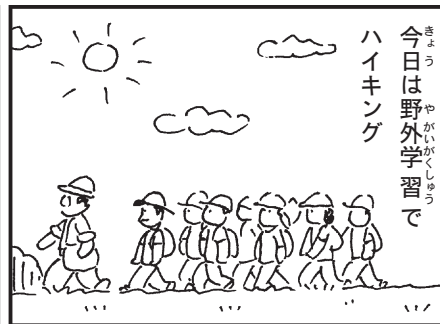


こんなふうに使つよ



習二君の類は友を呼ぶ

今日は野外学習でハイキング



さあお弁当の時間にします



僕はおにぎりが好きさ

僕もだよ



類は友を呼ぶだね



ひとつの交換しよう

いいね



あ、お腹いっぱい



ホカホカ



仲良くお昼寝

類は友を呼ぶようね





しゅうじ君の ことわざ。



弱肉強食

(じやくけんじゆうじく)

言葉の意味

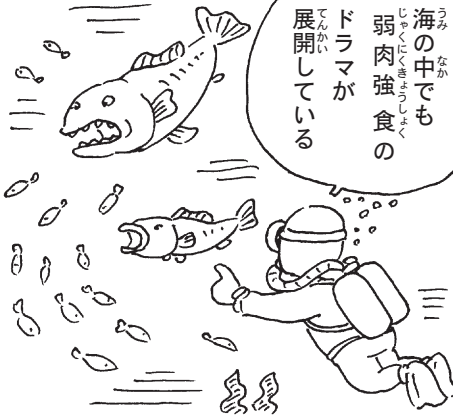
力が強いものが弱いものをえさにして食べて栄養をとるという意味。



弱いものは強いものに食べられて滅びてしまいます。強い組織が弱い組織を打ち負かして栄養、という競争社会の厳しさを伝える言葉としても使われますね。

こんなふうに使おうよ

海の中でも弱肉強食のドラマが展開している



日本の歴史にも弱肉強食の時代がありました

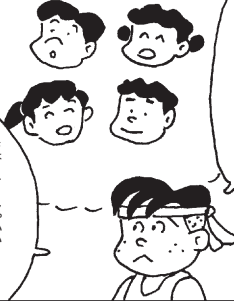
習二君の弱肉強食

弱肉強食



みんなと仲良く暮らしたいけど

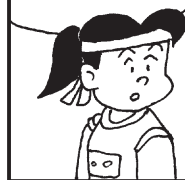
競争社会で生き残るには強くなるしかないか



生存競争に勝つためには食べる側の立場に……



習二君なにをブツブツ言ってるの



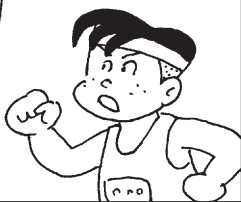
スタートだよ



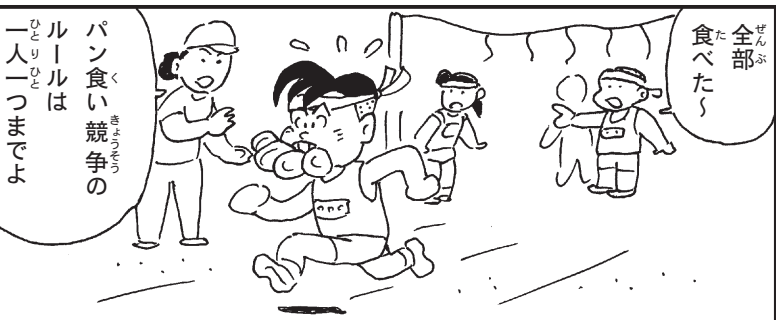
うん

よし

心を鬼にして食べるぞ



全部食べた



パン食い競争のルールは一人一つまでよ